

スポット ニュース

掘削設備の設置工事、順調に進む！

瑞浪超深地層研究所の用地では主立坑（内径 6.5 ㍍）と換気立坑（内径 4.5 ㍍）のやぐらなどの設置作業を行っています。

主立坑と換気立坑は、やぐらの設置作業がほぼ終了し、現在、やぐらを覆う防音ハウスの設置作業を行っています。また、主立坑のやぐらの高さは約 25 ㍍、換気立坑のやぐらの高さは約 20 ㍍となります。

なお、防音ハウスや排水処理設備などの地上施設の設置後、平成 17 年 2 月頃から深さ約 50 ㍍より深い場所の掘削作業を再開する予定です。



写真 手前のオレンジ色の建物が主立坑のやぐら
写真 奥の黄色の建物が換気立坑のやぐら

今月の主な作業内容

【瑞浪超深地層研究所】（11月19日現在）

- 2本の深いボーリング孔（MIZ-1号孔、DH-2号孔）で振動及び電気を用いて地下を調べる研究
- 深いボーリング孔（MIZ-1号孔）で岩盤の力のかかり具合の測定
- 深いボーリング孔（MIZ-1号孔）で振動を用いて地下を調べる研究
- やぐら設備等の地上設備の組立・設置作業
- 浅い4本のボーリング孔（MSB-1,2,3,4号孔）での水圧などの長期観測
- 狭間川における流量観測及び用地周辺井戸での水位観測

【正馬様用地】

- 既存のボーリング孔での水圧などの長期観測

地層研ニュースに関するご質問のある方、また瑞浪超深地層研究所や正馬様用地の見学をご希望される方は、下記までご連絡ください。

フリーダイヤル：0120-333-112 東濃地科学センター 地域交流課（青木、松浦、福島）

【東濃地科学センターホームページ <http://www.jnc.go.jp/ztounou/index.htm>】

瑞浪地層科学研究国際会議を 開催しました

10月21、22日、瑞浪市総合文化センターにおいて地層科学研究の国際会議を開催しました。

この会議は深地層の研究施設計画に関する国際会議「第1部：瑞浪地層科学研究国際会議'04」として、スウェーデン（原子燃料廃棄物管理会社）の Olle Olsson（オーレ・オルソン）博士による基調講演、カナダ・スウェーデン・スイス・韓国の深地層の研究施設における研究の現状報告、東濃地科学センターにおける研究の現状報告及びパネルディスカッションなどを行いました。



【写真はオーレ・オルソン氏】

用語あれこれ

【硬度4とは】

モースの硬度について前回までの硬度1～3のご紹介に引続き今月号は硬度4をご紹介します。

硬度4で代表的な鉱物は、螢石で主にカルシウムからなっています。色は無色、淡緑色、紫色と様々な色があります。また、紫外線をあびると螢光を発生し、加熱すれば青い光を発生します。

螢石は光学レンズや特殊ガラス、製鉄用融剤などに使用されており、硬さは銅貨（硬度3.5）より少し硬い程度です。

瑞浪国際地科学交流館の展示案内

瑞浪国際地科学交流館の1階にあるミニギャラリーでは、「瑞光会 絵画展」として風景画（油絵）などの作品を展示いたします。是非、瑞浪国際地科学交流館へ足をお運び下さい。

【期間】平成16年12月1日～平成17年1月31日 10:00～21:00

【場所】瑞浪市明世町戸狩字大狭間36-8（年末年始 12/29～1/3 休館）

来月の主な作業予定(12月)

【瑞浪超深地層研究所】

- 深いボーリング孔（MIZ-1号孔）での岩盤の力のかかり具合の測定
- 深いボーリング孔（MIZ-1号孔）で揚水して、周辺のボーリング孔で地下水の動きを調べる作業
- やぐら設備等の地上設備の組立・設置作業
- 浅い4本のボーリング孔（MSB-1,2,3,4号孔）での水圧などの長期観測
- 狭間川における流量観測及び用地周辺井戸での水位観測
- 地表の傾斜量を測る装置の設置作業
- 気象観測装置及び地下水位観測のための作業

【正馬様用地】

- 既存のボーリング孔での水圧などの長期観測
- 気象観測装置のメンテナンス及び河川流量計上流部の土砂浚渫